

(データ/病床) 比に係る整理

1 (データ/病床) 比の考え方

ア 対象期間において退院した患者の全データ数/病床のこと。

イ 全データ数を病床利用率や在院日数等を用いて算出する場合には、
$$\text{全データ数} = \{\text{対象期間 (A)} \times \text{病床数 (B)} \times \text{病床利用率 (C)}\} / \text{在院日数 (D)}$$
となる。

ウ 従って、

$$\begin{aligned} \text{(データ/病床) 比} &= \text{全データ数} / \text{病床数 (B)} \\ &= \{\text{対象期間 (A)} \times \text{病床利用率 (C)}\} / \text{在院日数 (D)} \end{aligned}$$

となり、病床利用率が高く、在院日数が短ければ、(データ/病床) 比は大きくなる。

2 具体例について

- ・ 対象期間 = 7月～10月 (123日)
- ・ 一般病床の病床利用率 = 79.4% (平成17年医療施設調査)
- ・ 平均在院日数 = 28日 (10:1入院基本料における特定機能病院の基準在院日数) とした場合

$$\begin{aligned} \text{(データ/病床) 比} &= (\text{対象期間 123日} \times \text{病床利用率 79.4\%}) / \text{平均在院日数 28日} \\ &= 3.49 \end{aligned}$$